

2026年3月5日

～37年の歴史に幕～
相鉄ムービル 2026年9月30日に閉館
横浜駅西口大改造構想の皮切りとして

株式会社相鉄アーバンクリエイツ
株式会社相鉄ビルマネジメント

相鉄グループの(株)相鉄アーバンクリエイツ（本社・横浜市西区、社長・左藤 誠）と(株)相鉄ビルマネジメント（本社・横浜市西区、社長・左藤 誠）は、横浜駅西口エリアで約37年にわたり営業を続けてきた「相鉄ムービル（相鉄南幸第2ビル）」（横浜市西区南幸、以下、同ビル）を2026年9月30日（水）に閉館します。

なお、同ビルで営業中の店舗につきましては閉館日まで営業を継続し、今後、閉館に向けたイベントなども計画してまいります。

同ビルは、横浜駅西口エリアで5つのスクリーンをもつ映画館ビルとしてオープンした“初代 相鉄ムービル”の移設により、“2代目 相鉄ムービル”として1988年11月12日に開業しました。開業時のキーテナントである映画館「ムービル」の他、飲食店などが入居し、横浜駅西口エリアのシンボルの一つとして皆さまにご愛顧をいただき営業を続けてまいりました。

同ビルは、映画館「ムービル」の他にも、「相鉄本多劇場」（2014年閉館）やライブハウス、ジャズバー（2019年閉店）も開設。映画、演劇、音楽といった多彩な文化を発信し、横浜駅西口エリアのにぎわいを支える複合施設として、相鉄線沿線内外の多くの方々に親しまれました。

同ビルが果たしてきた、この長きにわたる歴史と文化的な役割を「横浜駅西口大改造構想」という新たなステージへとつないでまいります。また、隣接する「1000クラブ（相鉄南幸第10ビル）」（横浜市西区南幸）、「横浜西口一番街（相鉄南幸第13ビル）」（横浜市西区南幸）も、同様に2026年9月30日（水）をもって営業を終了し、閉館します。今後は当該敷地を含めての一体開発を検討してまいります。

概要は別紙のとおりです。



2代目「相鉄ムービル」オープン時



2代目「相鉄ムービル」オープニングセレモニーの様子

相鉄ムービル(相鉄南幸第2ビル)の概要

1. 建物
鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階建て
2. 所在地
横浜市西区南幸二丁目1番22号
3. 開業
1988年11月12日
4. 延床面積
13,571.06㎡
5. 閉館日
2026年9月30日
6. テナント数
17店舗(3月現在)
7. 運営会社
株式会社相鉄ビルマネジメント



現在の2代目「相鉄ムービル」

横浜駅西口大改造構想とは・・・

相鉄グループでは、2024年9月に「横浜駅西口大改造構想」を発表しました。この構想は、開発を始めてから70年以上が経過した横浜駅西口周辺を、新しい時代にふさわしい都市に生まれ変わらせようというもので、地域の皆さまや行政機関とともに新しい街の創造を目指していきます。

構想では横浜駅西口の強みであるターミナル性と繁華性に「Well-being=豊かさ」を加えた「Well-Crossing」というコンセプトを掲げて、国際競争力を持った魅力的な街づくりを進めます。再開発は2026年以降2040年代までの間で実施していく予定です。

Well-Crossingという行動により素敵な体験に出える、人にひらかれたまちづくり



将来の横浜駅西口 (イメージ)